

佐藤国際交流賞

佐藤国際交流賞は、佐藤昌氏が社団法人日本公園緑地協会会長、名誉会長として長年に亘り我が国の公園緑地行政の発展並びに海外諸国との専門的交流や 東洋、欧米諸国の公園緑地制度等に関する数々の優れた研究著述を通じ、造園 分野における我が国の国際的地位の確立に大きな貢献をされたことを記念して、平成4年に設けられております。

第 31 回佐藤国際交流賞受賞者（敬称略・五十音順）

① うちやま さだふみ
内山 貞文（68歳）

現 社団法人ポートランド日本庭園チーフ・キュレーター
（上席執行役員 日本庭園文化・技術担当）

受賞理由

氏は、昭和53年、西日本短期大学卒業後、JICAの事業の一環としてタンザニアや北イエメンで公園整備等を担当。昭和62年に渡米しイリノイ大学ランドスケープアーキテクト学士号および修士号を取得。平成20年からはポートランド日本庭園の技術主監として、庭園の維持管理から現地スタッフの教育、地元住民への日本庭園・文化の啓蒙活動などを実施。ポートランド日本庭園内で令和3年に開始した、日本文化を総合的に学ぶための新事業「ジャパン・インスティテュート（The Japan Institute）」の設立に尽力し、講師を務める。また「North American Japanese Garden Association（北米日本庭園協会）」の設立に5年間に渡り取組み、現在も大学やアメリカ全土で文化交流や現地専門家の育成のための講義を実施する等、幅広く日本庭園及び日本文化の発信に貢献している。国土交通省の進める「海外日本庭園修復事業」において、現地アドバイザーとして寄与。令和4年度外務大臣表彰を受賞した。

② おの りゅう
小野 隆（63歳）

元 Director at World Urban Parks
現 株式会社公園マネジメント研究所代表取締役
一般社団法人公園からの健康づくりネット業務執行理事
World Urban Parks ジャパン理事

受賞理由

氏は、WUP前CEO、Neil McCarty氏と共に都市緑地のウェルビーイングに資する重要性を提言し、WUPとWHOの関係の深化に関わった。WHOが都市緑地の便益をまとめた報告書等の邦訳出版、WHOヨーロッパとWUPジャパン並びに日本各団体の連携強化に尽力した。一方、豪州から世界に展開されたHealthy Parks Healthy Peopleのネットワークを通じて米国City Park Allianceとの交流をはじめ、公園を小児科治療の処方に

活用する取組を行うParkRx Americaの創立者R. Zarr博士との意見交換を通して公園処方箋アプリの開発を行っている。2020年Covid19パンデミックの際には、これらのネットワークからの情報を駆使し世界各国における都市公園の果たす役割を伝えた。WUP理事としてもWUPのウェルビーイング宣言や国際社会向けの啓発ポスターの編纂等にも関わった。

(年齢・現役職は、令和5年3月31日現在)